

LOGOFF コマンド

以上のようにTSS端末の利用者は、プログラム言語が異なる場合②、③、④のコマンドをそれぞれの言語に対応して入力すればよく、TSSに関するコマンドは、ほとんど同様に使用することができる。

プログラムの入力、修正、実行、結果出力の一連の処理の流れは共通性があり、容易に実習を行うことができる。

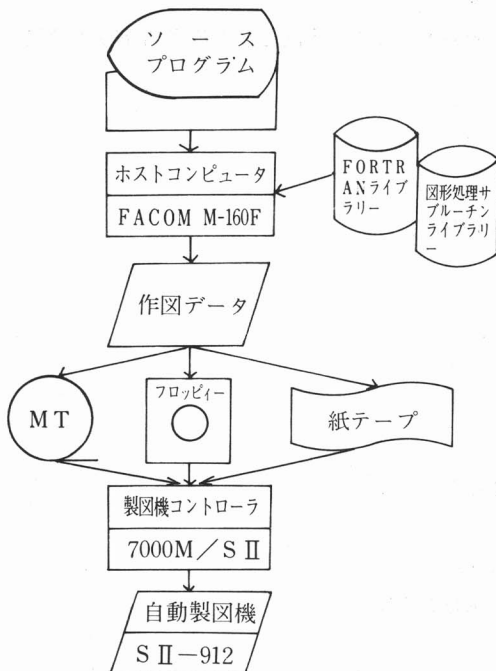
7. TSSと自動製図

各産業分野でコンピュータによる自動製図、自動設計が多方面で利用されている。

当センターでも情報処理教育の一環として、自動製図機による生徒実習、教員研修を行っている。

特に生徒実習では、電子計算機に関する深い知識を必要とせず、短時間の講義でプログラミングが可能であり、また、処理結果が図形や文字で出力されることも一因なのか、理解も早く興味を持って取り組んでおり、低学年における情報処理教育の動機づけの一つとして、効果をあげている。

(1) 自動製図システムの構成



(2) プログラム言語

- ① FORTRAN言語
- ② 図形処理用サブルーチンライブラリー
(武藤工業提供)

- ア. DAP-1
- イ. DAP-2
- ウ. DAP-KANJI
- エ. DAP-SMOOTH
- オ. DAP-VIEW

これらのサブルーチンライブラリーを使用するには、FORTRAN言語文法に従い、ソースプログラムの内に組み込み、処理しながら適時その結果の数値情報を用いて、サブルーチンをCALLする形で作図プログラムを組む。

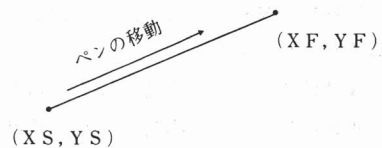
③ DAP-1 サブルーチンの使用例

CALL LINE 1 (XS,YS,XF,YF)

機能：指定した2点を直線で結ぶ。

XS, YS 始点のX, Y座標 [R]

XF, YF 終点のX, Y座標 [R]



[例] CALL LINE 1 (50.,90.,140.,30.,)

